



子どもの思いを生かす活動

【2年生の生活科】

12月6日（金）の昼休みに、2年2組の子どもたちが、町探検の発表を体育館で行いました。40号で、「潮見のすてき」を研究授業の中で子どもたちが発表する様子をお伝えしましたが、その続編となります。



今回の活動は、学級担任がこの授業を行った当初から意図したものではありません。子どもたちが、授業の中で充実した活動ができたので、さらにそれを広げていきたいという思いをもったことがきっかけです。それを、学級担任が受け止めて今回の活動に至りました。発表の対象は、1年生と3年生。1年生には、来年度の生活科につなげてほしいという思いがありました。3年生には、昨年度の経験を踏まえて、自分たちがしっかり発表できているのか聞いてもらいたいという思いがありました。



教室での発表とはまた違う雰囲気でしたが、2年生の一生懸命さは、1・3年生の十分伝わりました。2年生の子どもたちが「やってみたい!」という思いをもって、それが実現できたことは大変意味があります。多分、今まで持ったことがなかったであろう長机を、協力しながら運んでいる様子を見ると、頼もしい高学年になるのだろうなと思いました。

【委員会・クラブ活動】

JRC委員会が、潮見公民館に、花を植えるボランティア活動をしたり、150周年記念の写真展を依頼したりしました。地域貢献も、子どもたちの思いが活かされています。花や写真を見に、公民館に足を運んでいただくと、子どもたちもやりがいを感じますので、ご協力ください。



飼育委員会は、生き物の命を大事にしながらウサギの飼育に取り組んでいます。それだけでなく、ウサギのことをもっと知ってほしいという思いをもって、給食の時間に「ウサギクイズ」を出して、全校児童への周知を図っています。餌やりや飼育小屋の清掃だけでなく取組にチャレンジしていることがよいと思います。



体育委員会は、「潮見っ子柔軟運動」を実施したり、「しおみっ子体育タイム」を計画したりして、体力の向上を図ろうとしています。

この他にも、運営委員会が交通安全の啓発活動、外国語クラブのハロウィンパーティーなども子どもの思いを生かした取組です。子どもたち自身が考えて、実践していく活動が授業や行事等でどんどん増えていくように、学校全体で取り組んでいきたいと思います。